

令和4年度 第1回但馬地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和4年6月30日（木） 14時00分～16時00分

場 所：浜坂多目的集会施設 多目的ホール

次 第

1. 開会
2. 令和4年度の活動内容
 - (1) 但馬地域公共交通計画の施策推進
 - (2) 利便増進計画の策定
 - ・実施内容
 - ・実施体制
 - ・スケジュール
 - (3) 各団体の公共交通利用促進取組内容
3. 協議会の運営について
 - (1) 令和3年度監査報告、令和4年度予算案
 - (2) 監事の選任
 - (3) 規約の改定
4. 閉会

議事要旨

○主な意見

[但馬地域公共交通計画の施策推進について]

委 員：施策⑫で「新たに江原駅でのバリアフリー化を検討」と記載があるが、すでに江原駅にはエレベーターが設置されている。

事務局：昨年度までに実施された改修なので記載内容を改める。今後新たに何かを実施することは、現時点では考えていない。

委 員：施策⑬「MaaSの導入検討」について、但馬地域で何か展開できる可能性はあるか。

委 員：MaaSの仕組みがあれば、どこにでも応用できる。特にデマンド交通などにはそのまま応用できる部分があるのではないかと考えている。

委 員：今後ワーキング会議で意見交換を行い、何か新しいものを取り入れられないか検討してほしい。

委 員：今後は人材不足が問題になってくる。行政で具体的に人材確保について考えていることがあれば教えてほしい。

事務局：県の取り組みとして、交通事業者や国、市町も交えて、様々なテーマの勉強会を年3回開催している。人材不足への対応については、解決につながる取り組みができていない状況である。

委員：難題であるが、地域公共交通計画を進めていく過程で意見交換を行ってほしい。

[利便増進計画の策定について]

委員：朝来市の実証運行は、現在エリアや具体的な運行方法について調整を行っている。10月に予定されているワーキング会議で具体的内容を報告できればと考えている。

委員：但馬地域の公共交通では、乗務員不足の問題がある。医療や福祉など、他分野と連携し、地域を挙げて問題解決に向けて取り組む組織づくりを行っていくことや、別の軸足を探しながら考えていくことが必要になる。

以上